令和　７年　３月　７日

保護者　様

丹波篠山市立西紀南小学校

校　長　　近　成　　　真　介

令和６年度学校評価について(報告)

先般、学校評価アンケートにご協力賜りありがとうございました。児童、保護者の皆様の評価と教職員の自己評価に対して、学校運営協議会委員の皆様にもご意見をいただきました。保護者の皆様に改めて本年度の取組状況と来年度に向けての改善方策をお知らせします。

回答は４段階【①そう思う　②どちらかというとそう思う　③あまりそう思わない　④そう思わない】で行いました。達成状況は、①+②の割合が９０％以上をＡ、８０％以上をＢ、７０％以上をＣ、６０％以上をＤ、６０％未満をＥとしています。上段が本年度、下段が昨年度の評価です。下段の評価を記載していない場合、変化がありません。　　　　例）A（本年度の結果）

　　　　　　　　　　　　　　　　　↑

　　　　　　　　　　　　　　　　　B（昨年度の結果）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 設問  （児童、保護者、教職員の順） | 達成度 | | |  | |
| 児童 | 保  護者 | 教職員 | 成果と課題、改善策 | |
| 安　全　・　安　心 | 安全や健康に配慮し、安全で安心な学校づくりを進めている。 | Ａ | Ａ | Ａ | | 育成会や学校運営協議会、専門家による通学路点検、施設点検などを行い、安全な環境づくりに努めた。今後も様々な機関と連携するとともに、校内外での過ごし方など安全面で気になることについて職員間で情報を共有し迅速に対応するよう努める。 |
| 保護者・地域との連携 | （保・教）保護者や地域の参画及び協力を得ながら、保護者、地域と連携した学校づくりに取り組んでいる。（児）地域の人や家族と一緒に学習することが好き。 | B | Ａ | Ａ | | 保護者・地域の方の協力を得て教科・総合的な学習や行事（運動会、地域遠足等）に取り組めた。来年度も地域への積極的な働きかけを意識し、ふるさと教育や、地域とともにある学校づくりを一層推進する。 |
| （保）ＨＰや連絡メール、通信等を通じて学校の様子を伝えている。（児）学校の様子を家の人に話す。 | Ｂ | Ａ | A | | 学校生活のことが家庭で話題となるよう、今後も通信やホームページを通じて様子を伝えていくよう努める。 |
| 学　　習　　指　　導 | 意欲的に学習している。 | Ａ | Ｂ | Ａ | | 児童の約９５％が学習することが楽しいと回答している。意欲的に学習している子どもの様子を懇談や通信で伝えていく。 |
| 学習内容を理解し、基礎的な学力を身につけている。 | Ａ | Ａ | Ａ | | 授業で児童の理解度をきめ細やかに確認し、個別に必要な支援を行う。 |
| 家庭学習（宿題や自主学習）の習慣が身に付いている。 | Ａ | Ｂ | B↑Ａ | | 約２割の保護者は家庭学習の習慣化が難しいと感じられている。学期初めの指導、みなみん生活週間の取組など機会あるごとに児童に働きかけるとともに、懇談等で個別対応を行う。 |
| 読書に親しんでいる。 | Ｃ | Ｅ | B | | 図書館支援員、きらめきグループの皆様による読み聞かせ、中央図書館の団体貸出等に加え、朝読書を月２回実施することで、本に触れる機会が増えた。保護者おすすめの本紹介など、家庭読書につながる取組を今後も続ける。授業では、タブレットを用いた学習も行うが、辞書や書籍を活用する力をつける学習にも取り組む。 |
| 生　徒　指　導　、　個　に　応　じ　た　指　導　等 | 思いやりの心を持って友だちと仲良く生活している。 | Ａ | Ａ | Ａ | | 思いやりのある行動ができていると考える児童がさらに増えた。今後も道徳教育や学級活動・児童会活動の充実をはかる。 |
| 楽しく学校に通っている。 | Ａ | Ａ | Ａ | | 日頃から子どもの様子をよく見聞きし状況を把握するとともに、年間３回実施の生活アンケートとみなみん相談（個別面談）により、困っていることや悩みを聞き取り、迅速かつ丁寧に対応するよう努めた。今後も、児童を温かく見守り、保護者の方や子どもの思いを受け止め、相談しやすい体制を整える。日記や作文、連絡帳などを活用し、児童のようすや気持ちを理解するよう努める。 |
| （保）気軽に相談できる体制を整え、丁寧に対応する。（児）困った時、分からない時に先生は相談にのったり教えてくれたりする。 | Ａ | Ａ | Ａ | |
| （保）個性や課題に応じた児童支援を行っている。（児）得意なこと苦手なことを特徴に合わせて教えてくれる。 | Ａ | A↑B | Ａ | | 保護者の評価が向上した。今後も児童や保護者の思いやニーズを知る機会を十分に持ち、個に応じて多様な学び方ができるよう工夫する。  「自分の考えを持って行動している」と回答した児童が大幅に増えた。どの教科においても、自分の考えをまとめたり伝えたりする活動に重点を置いた成果と考える。 |
| 夢や目標を持って学習や生活をしている。  自分の考えを持って行動している。 | Ａ | Ｂ | Ａ | |
| 基　本　的　な　生　活　習　慣　等 | 子どもは進んであいさつをしている。 | Ａ | Ｂ | Ａ | | 児童会のあいさつ運動により効果が上がってきたと考える。登下校中など様々な場面で元気にあいさつができるよう働きかける。 |
| 基本的な生活習慣（早寝早起き朝ごはん等）が身に付いている。 | Ａ | A↑Ｂ | Ａ | | 保護者の数値が上がり、A評価となった。みなみん生活週間や全校朝会・委員会活動など機会をとらえて基本的生活習慣の大切さを伝えてきた。今後も保護者の協力を得て児童への啓発を行う。 |
| ルールを守って、テレビや動画、ゲーム、インターネットなどを利用している。 | A↑C | D↑Ｅ | B | | 学年に合わせた指導を行い、児童・保護者の評価は高まったが、約４割の家庭で適切な利用が難しいと感じられている。年度初めに、各家庭のルールを子どもと確認いただくなど、児童がルールを意識できる取組を検討する。 |
| タブレットを効果的に活用している。 | Ａ | Ｂ | Ａ | | 様々な学習や活動でタブレットを効果的に活用し、児童も使いこなせるようになってきた。家庭への持ち帰りも含め、適切かつ効果的に利用できるよう職員の研修を行う。 |